

活動報告 -4

地域・社会と ともに

三菱地所グループは、企業市民として社会との調和を大切にしなが、三菱地所グループの特色を活かしたさまざまな活動を推進することで、より良い地域・社会づくりに貢献します。



社会貢献活動の考え方

社会貢献活動基本方針

三菱地所グループでは、1994年に制定した社会貢献活動理念を、社会的課題の変化やグループ全体としての取り組みの必要性などの観点から見直し、2008年4月に「三菱地所グループ社会貢献活動基本方針」を策定しました。

三菱地所グループ社会貢献活動基本方針

1. 社会的課題の解決と自らの成長

良き企業市民として社会的課題の解決を目指し、活動を通して自らも成長をはかります。

2. 三菱地所グループらしい活動の展開

事業領域の内外において、経営資源を生かした、三菱地所グループらしい特色ある社会貢献活動を展開します。

3. 社会との連携

対等、信頼、対話を基本として、さまざまな団体と連携して、透明でフェアな活動に努めます。

4. 重点分野

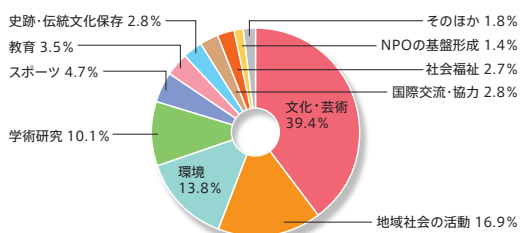
「地域社会との共生」「文化・芸術支援」「環境保全」「社会福祉」を重点分野として取り組みます。

社会貢献活動実績

支出内訳

三菱地所グループでは、「社会貢献活動基本方針」に基づく重点分野を中心に、グループの特色を活かした社会貢献活動に取り組んでいます。2008年度、三菱地所(株)単体の社会貢献活動支出は約1,119百万円で、経常利益の1.16%にあたります。

■ 社会貢献活動実績 (2008年度)



活動事例

地域社会との共生

日本橋地域の活性化をめざして地域と共生

東京都中央区日本橋蛸殻町に所在するロイヤルパークホテルでは、外国人向けのサービス向上による「日本橋地域」の活性化をめざしています。地元飲食店との共同により2008年春から「バイリンガルメニュー」を作成するとともに、2009年6月現在、57軒の「バイリンガルメニュー」のあるお店を紹介するマップも作成しました。この取り組みは国土交通省が推進する外国人旅行者の訪日促進を目的とした「ビジットジャパンキャンペーン」の一環として行っており、2008年8月、2009年3月には東京都産業労働局観光部振興課の協力のもと、ホテル業界で初めて、地元飲食店の方を対象とする英会話教室も開催しています。



英会話教室



バイリンガルメニューのあるお店マップ

外国人のお客さまにも安心して対応しています

株江戸路 代表取締役 山田麻友美氏
(地鶏と季節の野菜料理 人形町本店)

以前は外国人のお客さまが来店されると大変不安でしたが、ロイヤルパークホテルの指導により英語のメニューができたことで、安心して「いらっしやいませ!」と言えるようになりました。私のお店はオープンカウンターのお店ですが、外国人のお客さまも英語のメニューがあることで安心して席についていただいています。何よりも外国人のお客さまのご来店が増えたことに感謝しています。



非常用食料を地域に提供

三菱地所株大阪支店では、支店の所在する「OAPタワー」に災害時対策として備蓄している非常食の入れ替え時期を前倒して、賞味期限に余裕のある非常食を、ビルを管理するオー・エー・ピーマネジメント株を通じて大阪市北区に寄付しています。また、三菱地所株名古屋支店でも支店の所在する「大名古屋ビル」などの備蓄非常食(缶詰など)を中部善意銀行紹介の児童養護施設などに寄付しています。

文化・芸術支援

「藝大アーツ イン 東京丸の内」の開催

三菱地所株は東京藝術大学とともに、東京丸の内からさまざまな文化・芸術の情報を発信していくことを主旨として、2008年10月、「丸ビル」において「藝大アーツ イン 東京丸の内」を開催しました。三菱地所株と東京藝術大学は本イベントに限らず、さまざまな形で今後も丸の内では文化力を高めていくことに合意し、藝大生への支援として新たに設置した「三菱地所賞」の授与式およびコンサートや作品展などを行いました。2009年度も継続開催しています。



藝大アーツイン東京丸の内

丸の内ストリートギャラリー

三菱地所株では、「財団法人彫刻の森美術館」の協力を得て、1972年より「丸の内仲通り」に彫刻を展示しています。2009年5月に「丸ビル」3階回廊にて実施した彫刻の写真展に、来場されたお客さまおよびホームページによる投票で人気の高かった彫刻を選定し、2009年8月末に入れ替えをしています。



丸の内仲通りの彫刻展示

環境保全

大手町・丸の内・有楽町 打ち水プロジェクト

東京都千代田区の「大手町・丸の内・有楽町地区」では、伝統的な生活の知恵「打ち水」でヒートアイランド現象抑制をめざしたイベント「打ち水プロジェクト」を継続的に実施しています。三菱地所株が会長会社を務める「大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会」などで構成される実行委員会が主催し、2008年は8月1日から11日にかけて4会場で約1,900名の参加を得て排水を再利用した「中水」を活用し、気温変化も計測しました。

名古屋駅地区の清掃活動に参加

三菱地所株名古屋支店では、2009年3月より「名古屋駅地区街づくり協議会」の主催による名古屋駅地区の清掃活動に参加しています。



名古屋駅地区清掃活動

社会福祉

第7回キラキラッとアートコンクール開催

三菱地所株では、全国の障がいのある児童、生徒を対象にした絵画コンクールを2002年度より毎年開催しています。応募作品すべてをインターネットで公開することが特徴で、2008年度は全国から過去最多となる939点の応募があり、優秀作品50点は「丸ビル」をはじめ全国8会場を巡り、多くの人々に鑑賞いただきました。



福岡市「イムズ」における原画展

専用ホームページ <http://www.kira-art.jp>

都市と農山村をつなぐ 『空と土プロジェクト』

空と土は、どこまでもつながっています

三菱地所グループでは都市と農山村をつなぐ「空と土プロジェクト」を2008年度から開始しました。山梨県北杜市で活動を行うNPO法人「えがおつなげて」と連携し、限界集落※地域である増富地区との交流を通して、都市と農山村、それぞれが抱える問題の解決をめざします。2008年度は三菱地所グループ社員や丸の内エリアで働く人を対象に、間伐や開墾など3回の体験ツアーを実施しました。「森林資源の活用」や「開墾した畑の活用」といったテーマで地域の方々も交え、活発なディスカッションも行いました。また、2009年度は、グループ会社が管理するマンションに入居されている皆さまと一緒に田植えを行うなど10回の体験ツアーを実施するほか、間伐材や木材の活用など、事業活動との連携も視野に入れて検討を進めています。

※限界集落：人口の50%以上が65歳以上の高齢者となり、社会的共同生活の維持が困難になった集落のこと。

丸の内と限界集落は、現在の日本を象徴するといっても過言ではない二つの地域です。そんな地域の交流だからこそ、大きなインパクトがあるのです。今後は、双方が持つ資源の循環構造をより大きくしていきたい。三菱地所グループのこれからの活動に期待しています。



NPO法人えがおつなげて
曾根原久司代表

「空と土プロジェクト」参加者のご意見・ご感想

- ・新たなコミュニケーションの中で、皆さんと一生懸命になれたことに達成感を感じた。
- ・爽快感、達成感を感じられた。日常生活から離れ、大きな気分転換ができた。
- ・手を入れなければ土地は廃れていくという現実を、身をもって勉強できた。
- ・農家や林業従事者の方から直接話を聞いたことが貴重な経験だった。
- ・企業の社会貢献を子供たちと一緒に体験できたことに大きい意義を感じた。
- ・今後は価格だけでなく、産地もよく比較して野菜を買おうと思った。



2008年10月 間伐体験 搬出した間伐材の前にて



2008年8月
農作業体験
無農薬のじゃがいも
を収穫



2008年10月
「森林資源の活用」
をテーマに、グル
ープごとにディスカ
ッション



2008年11月
開墾体験
スキの根っこを
掘り起こし



2009年5月 マンション入居者の皆さんと一緒に